

共同研究の実施について

琵琶湖流域下水道フィールド提供型共同研究実施要綱に基づき、共同研究(自主提案型)について申請のあった下記2件を採択し県との共同研究を実施することになりましたのでお知らせします。

申請者	(株)クボタ
研究テーマ	反応タンク用低速攪拌機「Kウイング」の深槽生物反応槽における攪拌性能調査
研究目的	反応タンク用低速攪拌機「Kウイング」の省エネ性、攪拌均一性を調査し深槽生物反応槽への適応性を判断する。既設水中攪拌機と省エネ性、維持管理性、水処理性能について比較評価を行う。
研究内容	実機を生物反応槽に設置し攪拌性能(底部流速、攪拌動力密度、汚泥濃度分布)を調査する。 実機適用時の水処理性能を確認する。 安定した連続運転および維持管理性を評価する
研究期間	平成22年 4月1日～平成23年 6月30日
採択理由	高度処理施設に必要な不可欠な攪拌機について、新型機種(陸上モータ型)の省エネ性能を評価する。

申請者	カワサキプラントシステムズ (株)、大阪ガスエンジニアリング (株)、株式会社 石垣 大阪支店、 ダイネン (株)、(株) テクノプラン
研究テーマ	炭化物を用いた脱水の効率化及び炭化物の活性炭相当品としての流通化実現への課題抽出
研究目的	微粉砕炭化物(以下、「微粉炭」という。)を、汚泥固形物比で3%前後の添加率で添加した場合の、汚泥含水率低下の効果を実機スクリーンプレス脱水機において調査する。 またこのときに作製された脱水汚泥のポンプ圧送についての所見を得る。 下水汚泥を原料とした炭化物の利用に関する委託事業について、活性炭相当品としての流通化実現への課題抽出を行う。
研究内容	微粉炭の添加方法および脱水効果に関する調査。 微粉炭添加脱水汚泥をポンプ圧送する際の圧力損失、圧送量等に関する調査。 微粉炭利用による維持管理費の削減効果の試算とエスコ事業等の適用可能性に関する検討。 なお、本研究により得られた結果が良好であれば、実設備への適用に向けたシステム検討等の計画書を作成する。
研究期間	平成22年8月27日～平成23年3月31日
採択理由	微粉炭を用いた脱水の効率化について検討を行うため。